

出産後の風しんワクチンのご案内

釧路赤十字病院 産婦人科

風しんは過去においては一般的な流行があり、かかっている方が多い感染症でした。しかし、重症な合併症を発症する可能性がある事、妊娠 20 週頃までの女性が感染するとお腹の赤ちゃんにも感染して、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があるため、現在は子どもの頃に風しんワクチンをうけて予防することが強く推奨されています。

妊娠初期に行った検査の結果、風しん抗体価が低い場合には出産後に風しんワクチンを接種することを強く勧めています。当院でも出産後に風しんワクチンを接種することが可能ですので、検査結果を確認し出産までにご検討ください。

当院の風しんワクチンは単体のワクチンがないため、『麻しん・風しん混合ワクチン』の接種となります。『麻しん風しん混合ワクチン』接種にかかる費用は **10,000 円程度***となります>(*2026 年 6 月より料金改定)。退院時に入院費用とともに請求となります。

【風しんワクチン接種を受けるかどうかの選択方法】

- ・妊娠初期に行った検査結果を妊娠 16 週以降にお渡ししますのでご確認ください。風疹抗体価の結果が 16 倍以下の場合は産後の風しんワクチン接種が推奨されます。
- ・ワクチン対象者の妊婦さんには助産師の中期指導または地域紹介時の面談の際、産後のワクチン接種までの流れについて案内があります。
- ・ワクチン接種を希望するかどうかは妊娠 37 週の時に希望を確認させていただきます。

【風しんワクチン接種を希望される方へ】

- ・ワクチン接種を希望される方には妊娠 37 週時に『麻しん風しん混合ワクチン予防接種 予診票』をお渡し説明します。
- ・分娩入院または帝王切開入院時まで『麻しん風しん混合ワクチン予防接種 予診票』を記載してご持参し、スタッフに渡してください。

【風しんワクチン接種の流れ】

- ・産褥 4 日目または帝王切開術後 6 日目の退院診察時に産婦人科医師が体調確認を行い、その後『麻しん風しん混合ワクチン』を接種します。
- ・ワクチン接種後は体調の観察をさせていただきます。
- ・ワクチン接種後の注意点について説明させていただきます。

※風しんワクチンは産後の接種となります。風しんに対する免疫が低い方は妊娠中に罹患しないよう十分に注意してください。ご家族の方（特にご主人）も注意し、風しんに対する免疫が低いご主人*はワクチン接種を推奨します。ご主人の風疹ワクチンは当院で接種できないためお住まいの地域で接種方法をご確認ください。

2026 年 6 月修正